

## 中央新幹線（東京都・名古屋市間）に係る環境影響評価書に対する環境大臣意見

中央新幹線（東京都・名古屋市間）（以下「本事業」という。）は、東海旅客鉄道株式会社（以下「本事業者」という。）が、東京都港区と愛知県名古屋市の間（約286km（地上部：40km、トンネル部：246km））を超電導リニアにより結ぶものである。

本事業は、その事業規模の大きさから、本事業の工事及び供用時に生じる環境影響を、最大限、回避、低減するとしても、なお、相当な環境負荷が生じることは否めない。

例えば、本事業のほとんどの区間はトンネルで通過することとなっているが、多くの水系を横切ることとなることから、地下水がトンネル湧水として発生し、地下水位の低下、河川流量の減少及び枯渇を招き、ひいては河川の生態系に不可逆的な影響を与える可能性が高い。特に、山梨県から長野県にまたがる地域の一部は、我が国を代表する優れた自然の風景地として南アルプス国立公園に指定されており、また、ユネスコエコパークとしての利用も見込まれることから、当該地域の自然環境を保全することは我が国の環境行政の使命でもある。

また、本事業の供用時には現時点で約27万kWと試算される大量のエネルギーを必要としているが、現在我が国が、あらゆる政策手段を講じて地球温暖化対策に取り組んでいる状況下、これほどのエネルギー需要が増加することは看過できない。供用時におけるエネルギー消費量の低減と調達するエネルギーのグリーン化等を行い、大規模事業者として、温室効果ガスの排出低減に向けて主体的な役割を果たすことが不可欠である。

この他にも、トンネルの掘削に伴い多量に発生する発生土の適正な処理、希少動植物の生息地・生育地の保護、工事の実施に伴う大気汚染、騒音・振動対策等、本事業の実施に伴う環境影響は枚挙に遑がない。

技術の発展の歴史を俯瞰すれば、環境の保全を内部化しない技術に未来はない。このため、低炭素・循環・自然共生が統合的に達成される社会の具現化に向け、本事業の実施に当たっては、次の措置を講じることにより、環境保全について十全の取組を行うことが、本事業の前提である。

なお、言うまでも無く、本事業は関係する地方公共団体及び住民の理解なしに実施することは不可能である。このため、事業の円滑な実施及び供用に向け、本事業の今後の検討及び実施に当たっては、関係する地方公共団体の意見を十分に勘案し、環境影響評価において重要な住民関与についても十全を期すことが必要である。

さらに、国土交通大臣におかれては、本事業者が十全な環境対策を講じることにより、本事業に係る環境の保全について適切な配慮がなされることが確保されるよう、本事業者に対して適切な指導を行うことを求める。

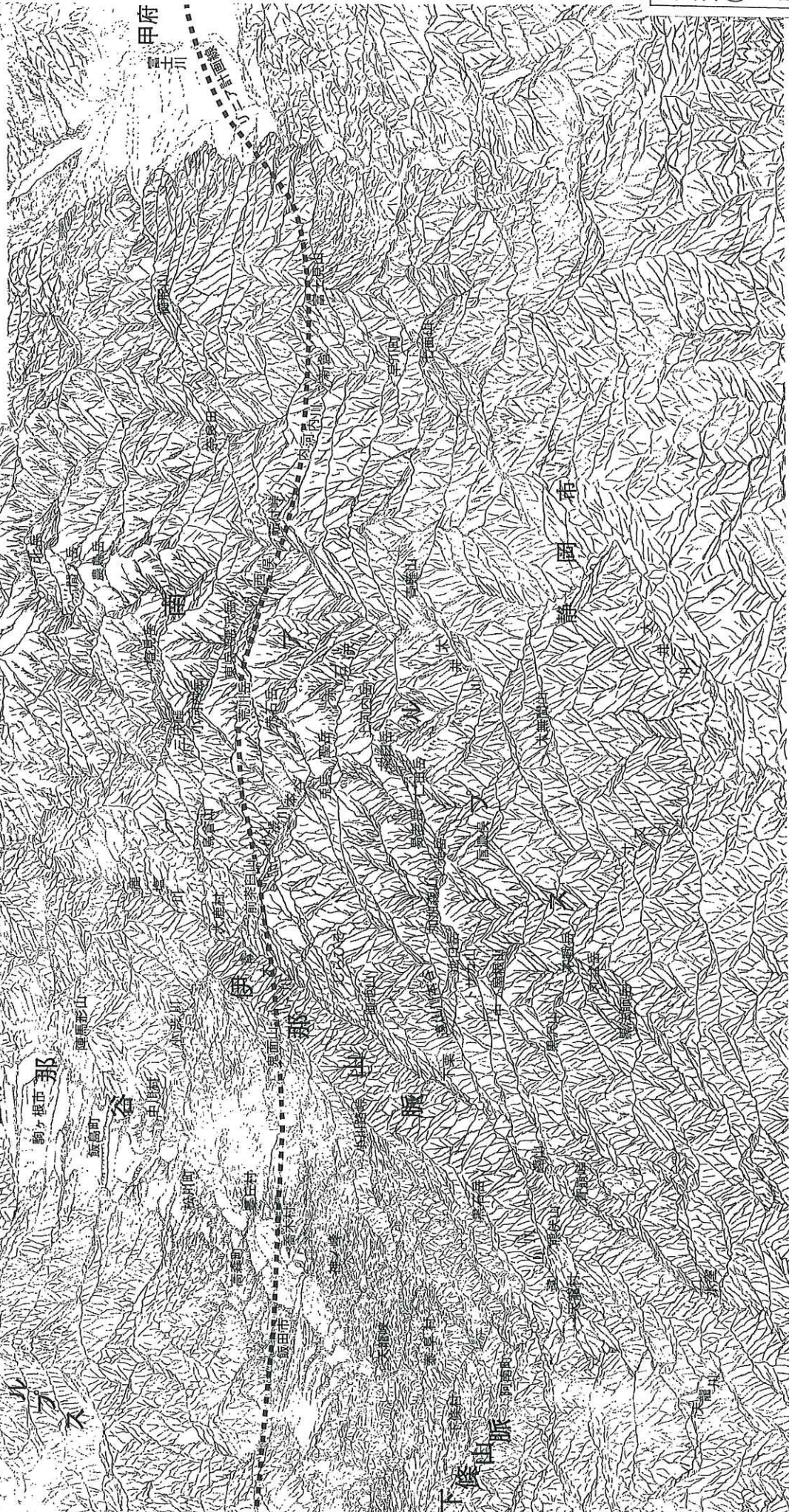


### 自然探索地図 170

# 南アルプス中核部

松島信幸展図

わたしの願い 南アルプスは地球上において  
稀に見るほどの幾多の変動が記録されてきた  
山岳地帯です。  
どんなに土木技術が進歩した今日とはいえ、  
地球の摂理を無視してまで営利と利便性を求  
めてはいけません。





## 国立・国定公園総点検事業において抽出された新規指定・大規模拡張候補地

候補地	自然の風景地としての評価	今後の方向性
南アールプス	<p>日本列島の形成過程を反映して形成された雄大な山脈に加えて、氷河期に形成された地形が存在し、傑出した地形地質を有している。これらの地形地質や歴史を反映して、植物や高山蝶等に多くの固有種・遺存種がみられるほか、南方系と北方系の植物が混在することから植物相が多様である。また、自然性が高くまとまりがある国内最大規模の夏緑樹林と、照葉樹林帯から高山帯までの顕著な垂直分布がみられる。これらのことから、現在の国立公園区域と同等の資質を有する一体性のある地域である。</p>	国立公園の拡張



リニアトンネル建設による湧水のための貯水ポンプ施設（山梨県都留市小形山）



湧水によりできた池（同上）

二〇一六年一〇月二〇日 参議院環境委員会 日本共産党 武田良介 提出資料 武田良介事務所作成



水が流れなくなった橋の上流部の沢（山梨県大月市笹子）



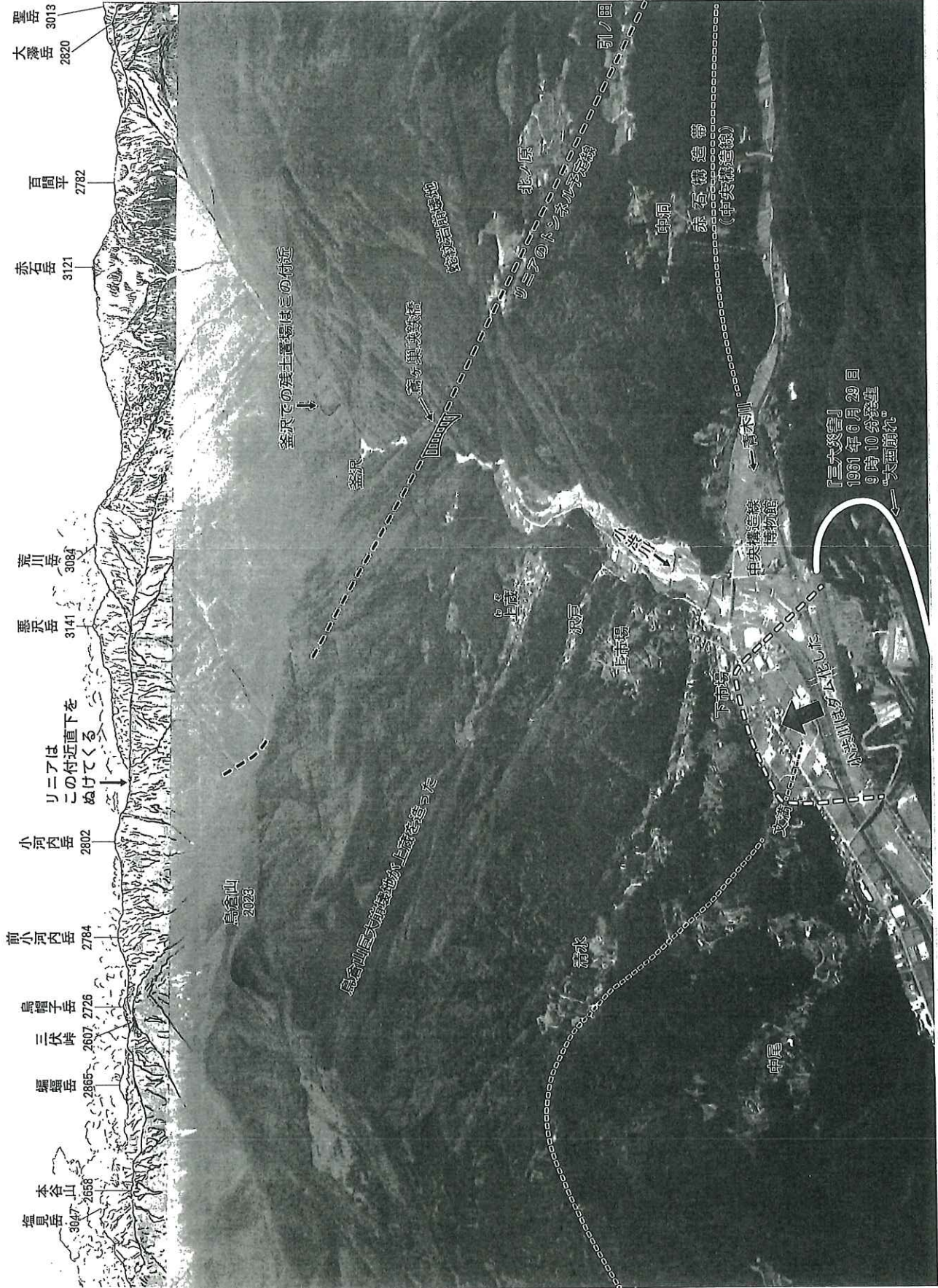
ポンプアップした水を流すことで川を「再現」した橋の下流部の沢（同上）



二〇一六年一〇月二〇日 参議院環境委員会 日本共産党 武田良介 提出資料 武田良介事務所作成

# 大鹿村大河原上空より小渋谷から赤石嶽方面

松島信幸<sup>※</sup> 作成  
河本和朗<sup>※※</sup> 撮影



南アルプスを貫く  
リニアトンネルは  
維持できない  
(以下南アと記す)

南アは年々高くなり、山が  
変形していく。ねじれていく。  
鉄とコンクリートのトンネル  
はねじれには弱い。南アは海  
と陸のプレートの衝突して山  
が高くくなっていくのだ。  
海のプレートは南海トラフ  
のマイナス5000mから、押  
し上げて3000mの山を造っ  
ている。この力は100～150  
年ごとの巨大地震を発生して  
きた。

南アは高さ8000mの変動帯  
なのだ。

超高压の山体地下水が山を  
支えている。

山を支えているのは高压の  
水と岩石だ。トンネルはその  
水を抜き続ける。高压水は止  
められない。山体は重力に抵  
抗している。山体を支える高  
圧水が流出すれば山は崩れて  
いく。

生きている8000mの山体を  
知らずしてリニア計画を進め  
てはいけない。

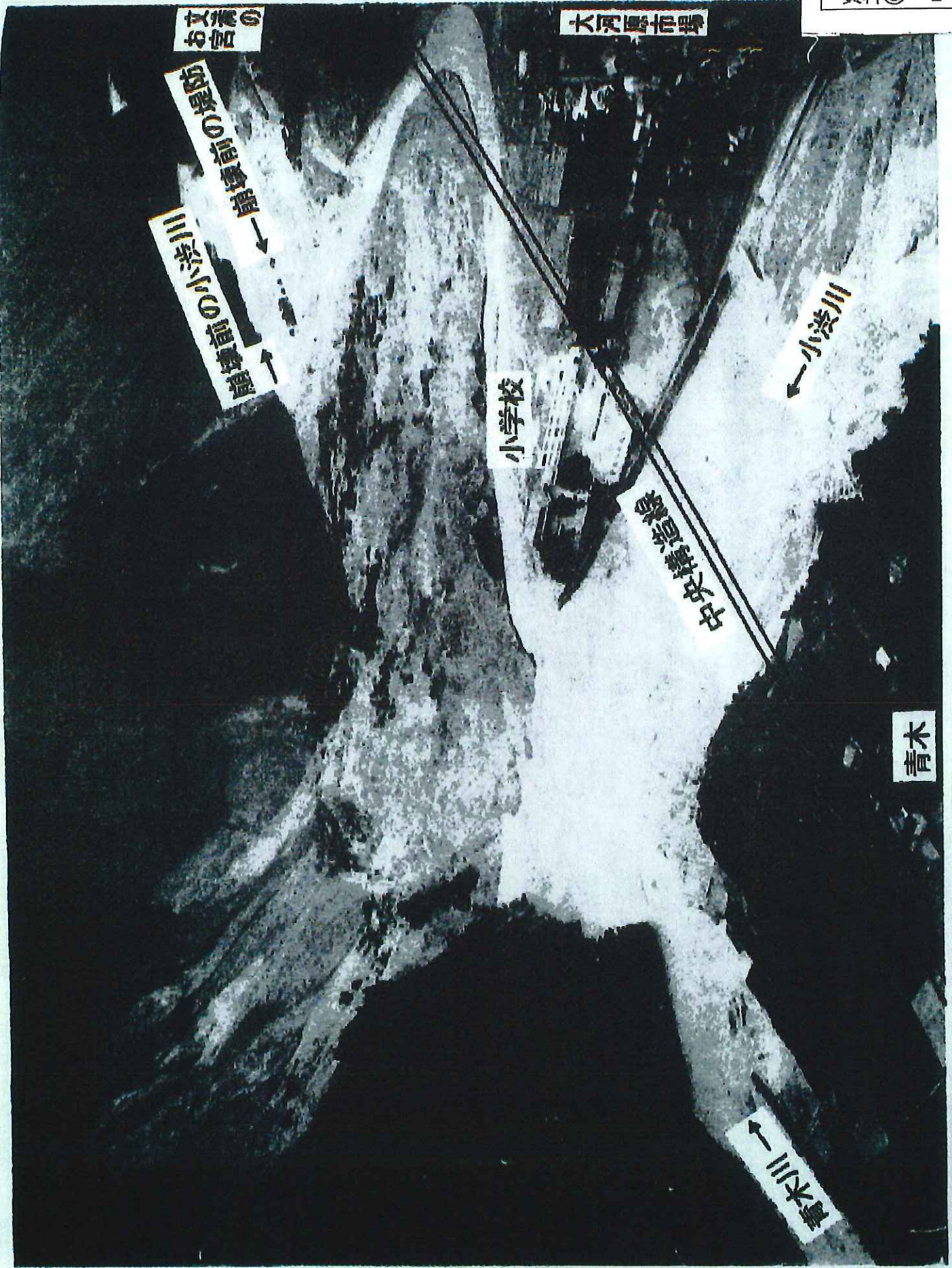


写真 昭和36年6月29日に発生した大西山崩壊. 崩壊直後の写真.

二〇二六年一〇月二〇日 参議院環境委員会 日本共産党 武田良介 提出資料  
 出典 松島信幸氏「赤石山地大西山の大崩壊 - 伊那谷三六災害で中央構造線マイロナイロ  
 帯の巨大崩壊 -」(『月刊地球』一九九六・九)内の写真



国土交通省鉄道局長

瀧口 敬二 様

リニア中央新幹線の環境影響評価に関する要望書

平成26年6月16日

長野県知事 阿部 守一

2016年10月20日 参議院環境委員会 日本共産党 武田良介 提出資料

出典 リニア中央新幹線の環境影響評価に関する要望書

(平成26年6月16日 長野県知事 阿部 守一)

本県の行政運営に対しましては、日頃から格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

リニア中央新幹線については、現在、東海旅客鉄道株式会社により環境影響評価の進められています。本県において対象事業実施区域とされた地域は、南アルプスをはじめとした雄大な山岳、豊かな森林、そこで育まれた清らかな水など、四季の変化に富んだ全国でも有数の美しい自然に恵まれており、古くからその恵みを生かした伝統的な生活が営まれ、中山道や天竜川などによる人々の交流を通じて特徴的な文化が形成されています。

この美しく豊かな自然と文化は長野県民の貴重な財産であり、誇るべき環境を将来の世代に引き継いでいくことは、現在を生きる我々に課せられた責務であるという基本的な認識の下で、環境影響評価法に基づき、環境影響評価準備書に対する環境の保全の見地からの知事の意見を述べたところです。

事業者に対しては、地域の環境保全に責任を有する知事の意見であることを十分に認識した上で、環境影響評価書に適切に反映することを強く求めたところですが、先般公表された環境影響評価書においては、知事意見に沿った調査の実施などは盛り込まれたものの、一部の事項については、知事意見が十分に反映されたとはいえないものと考えております。

環境影響評価法に基づき環境大臣から貴省に述べられた意見においては、関係する自治体の意見を十分に勘案することを事業者に要請されているところですが、貴省におかれては、環境影響評価書に対する環境の保全の見地からの意見を事業者に述べるに当たり、下記の事項に特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

### 1 工事用車両の通行に伴う生活環境への影響の低減について

環境大臣意見においては、地域特性に応じて大気質、騒音、振動に係るモニタリング及び適切な環境保全措置を実施すること、並びに住民関与について十全を期すことが要請されている。

工事用車両の最大発生集中交通量を削減することは本県特有の重要な課題であり、これを担保するため、環境の保全に関する協定等を締結することを、環境保全措置として評価書の中で明確に位置付けるよう、意見を述べること。

## 2 非常口（斜坑）に係る環境負荷の低減について

専門的な見地から、事業者が示す施工計画（トンネルの掘削方向、掘削速度等）について検証し、その結果を踏まえ、非常口の数を極力削減する観点から意見を述べる。また、広域的な観点から施工計画等を検討し、非常口の数の削減などの見直しを行うよう、意見を述べる。

## 3 地形・地質上のリスクが大きい場所における地上構造物の見直しについて

小渋川をトンネルで通過することについて、専門的な見地から、事業者が計画する縦断線形について検証し、技術的に可能と判断されれば、地形・地質上のリスクを低減する観点から、縦断線形の変更について意見を述べる。

